



菅のかげ



加茂

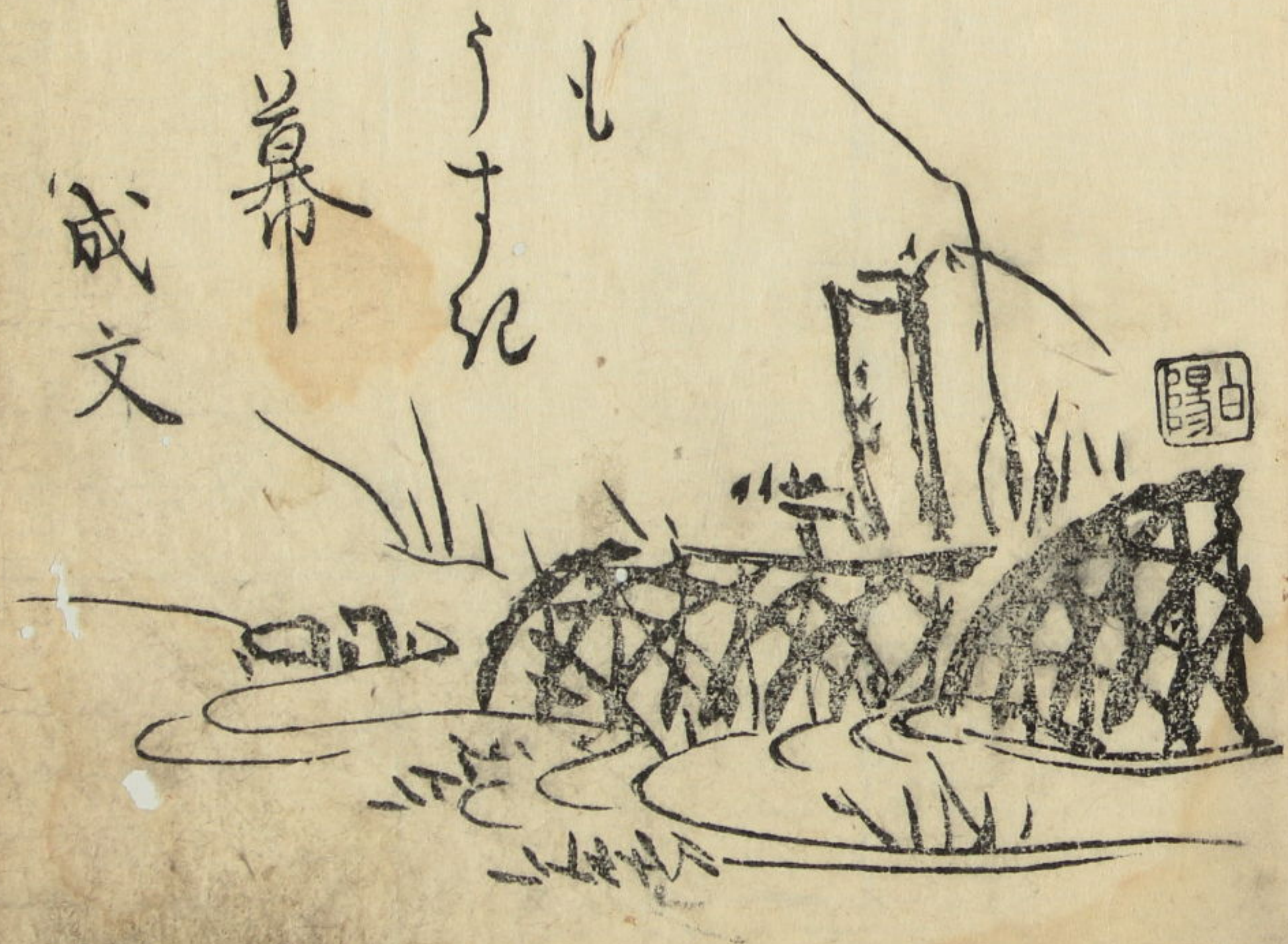
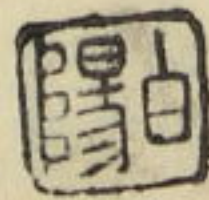
川隈也

夕月七

夕月七

市幕

成文



杜若

杉文

川多子也

岸ノカノカ

心

八坂

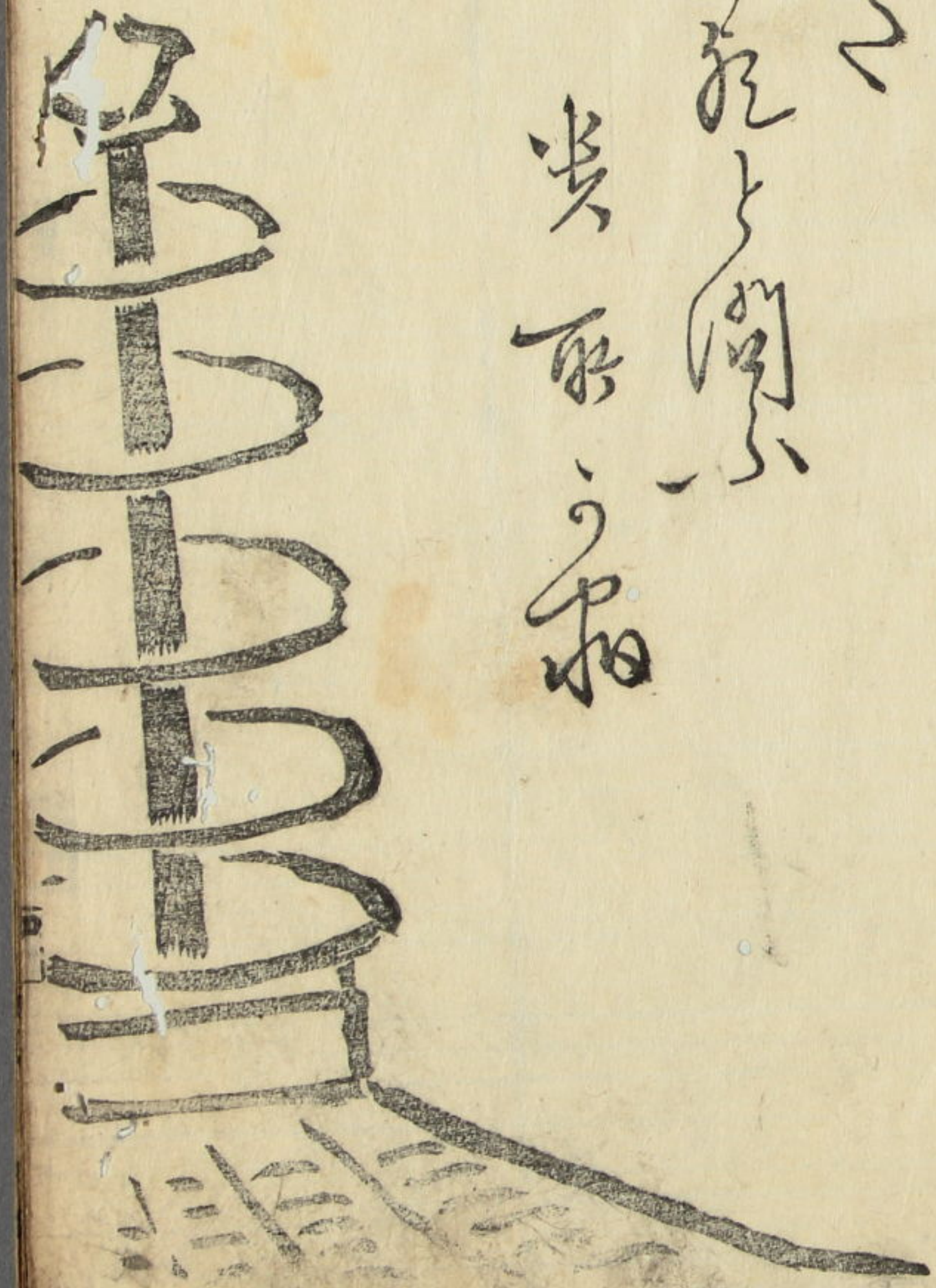
丹波報  
雨新



可記つる

内子流と聞ふ

貴取之箱



通天

北窓下

楚花

春の暮

僧の影あり

紅の糸



正河津夕佳樓  
少々唯望

春の麦

とくち帆ハ

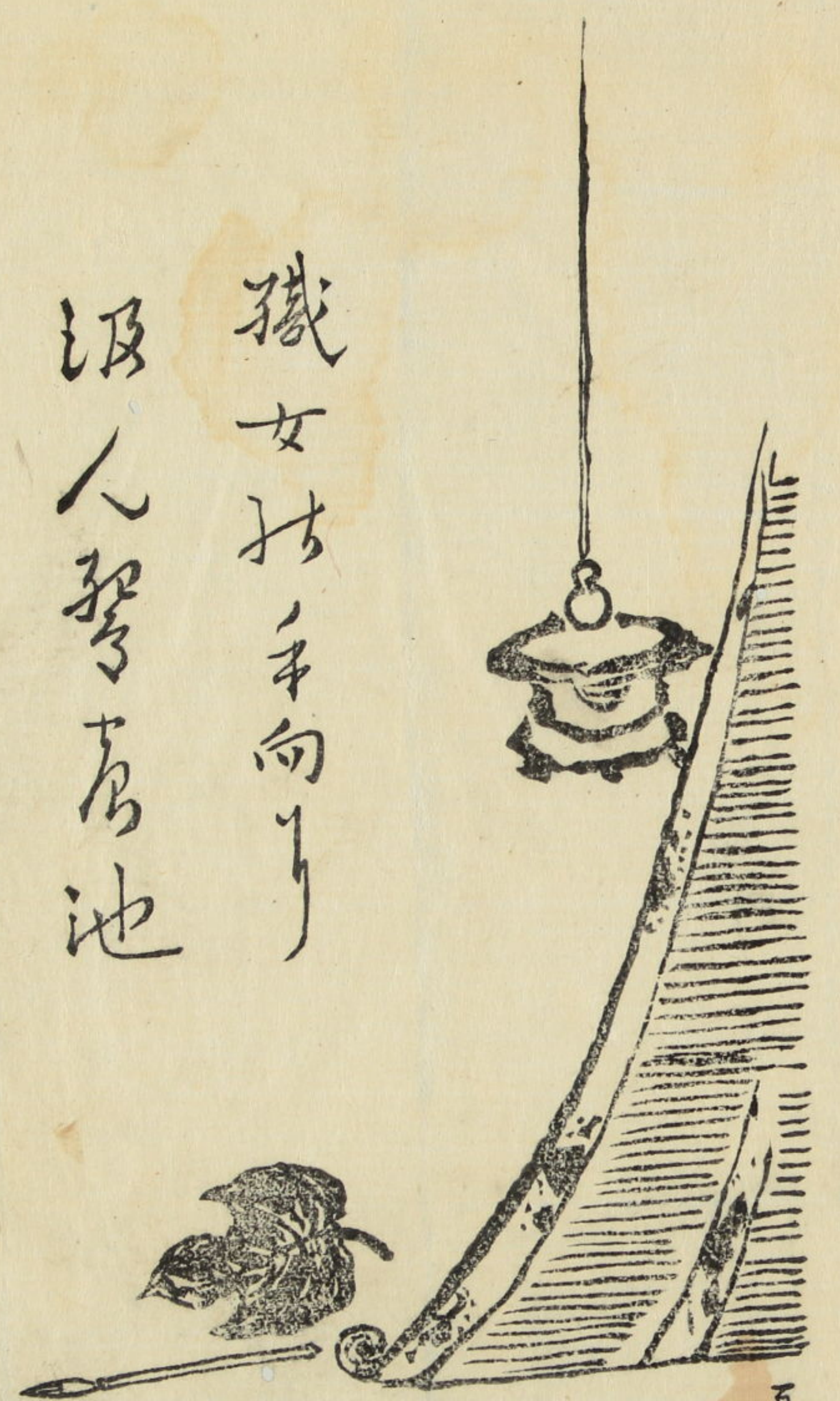
京乃海

玉葉樓  
文色



穢女姑年向  
汲人琴石池

百葉庵  
楚往



夏江画

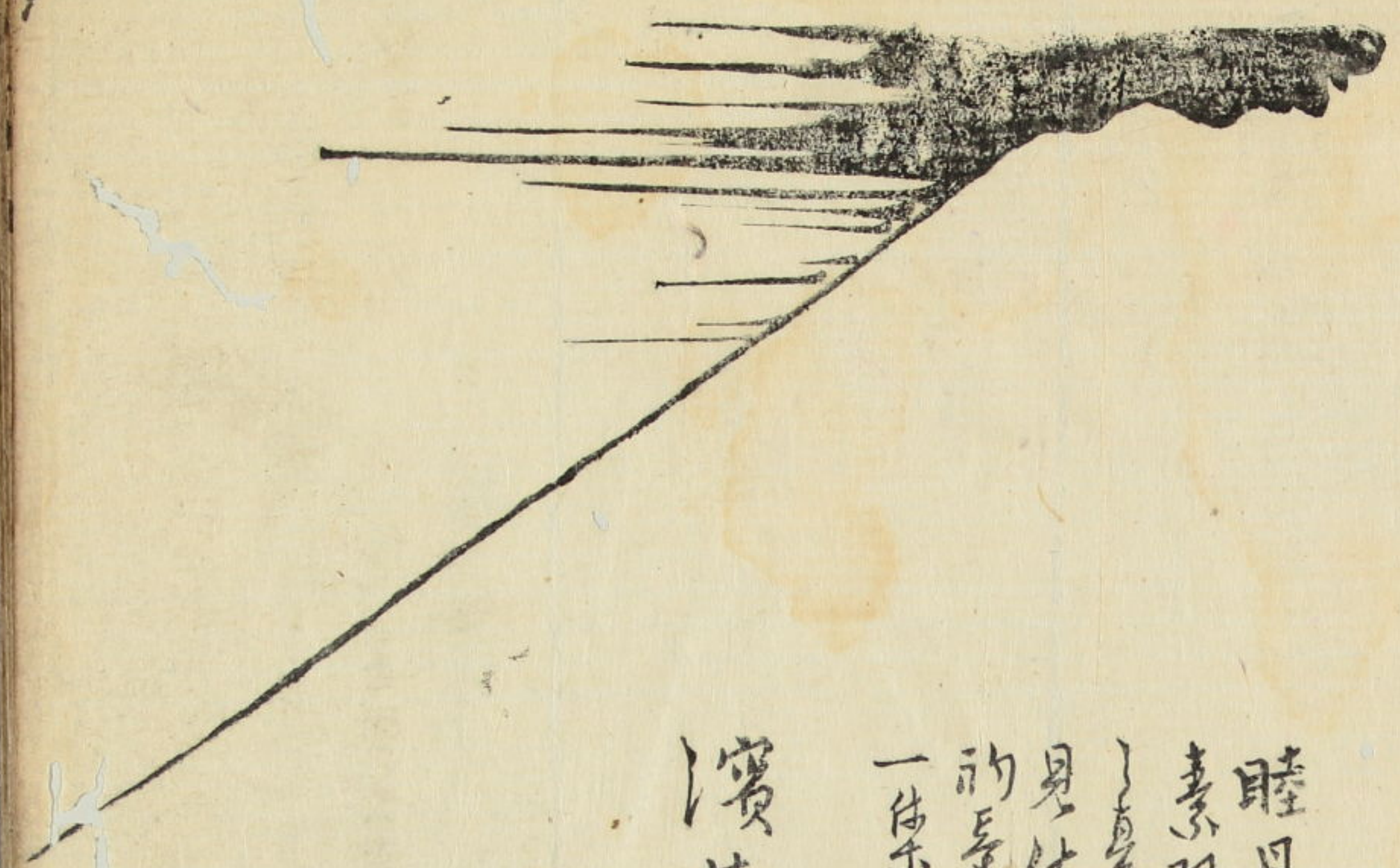


言臺寺

山吹下華茶屋  
松石可觀

音皓樓  
春暉



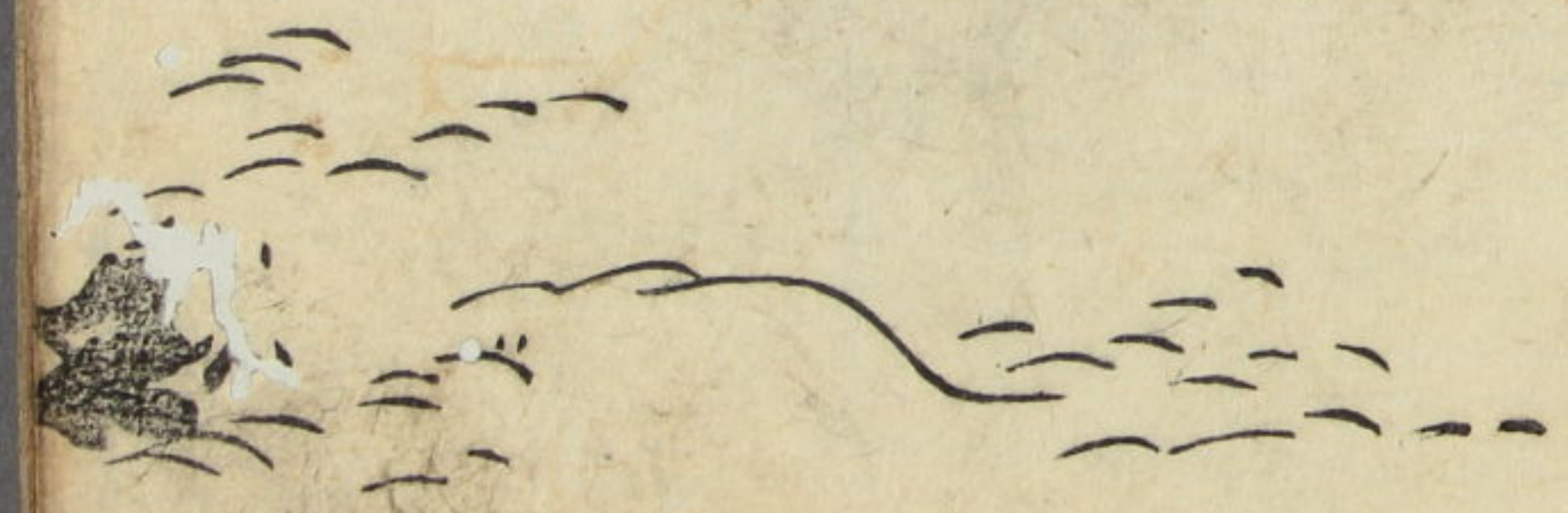


睦月中始と日古く  
素琴雅兄とては日  
く身不士二見は  
見付る則一向は  
初長を買は所  
一集者編に

濱萩者芽を

家女祇也

蘭亭



五里者  
井は心也  
昔名純

一海  
田

七才  
熊次郎



素琴

士筆と二見の約曼乃賢あり  
抄巻の事も用く美景は  
と流き子依て共来たり  
秀人平松認

昇家少也

るす

見あり

筆



四案

不系、多佛、少也、多、少、深、身  
吹、如、く、如、輝、と、く、く、も、梅、深、花  
清、の、明、也、吹、花、あ、け、は、多、部、の  
要、行、也、吹、花、は、清、花、梅、の、花  
香、也、清、の、梅、の、吹、花、く、く、く、く、  
解、和、の、吹、花、は、五、少、母、の、吹、花、く、く、  
燕、の、梅、を、清、花、は、五、少、母、の、吹、花、  
梅、吹、也、飛、然、母、の、吹、花、  
初、一、也、梅、花、の、吹、花、  
吹、花、の、吹、花、は、お、ん、か、あ

南中

全

杜山

全

芝山

全

湖中

全

鳥角

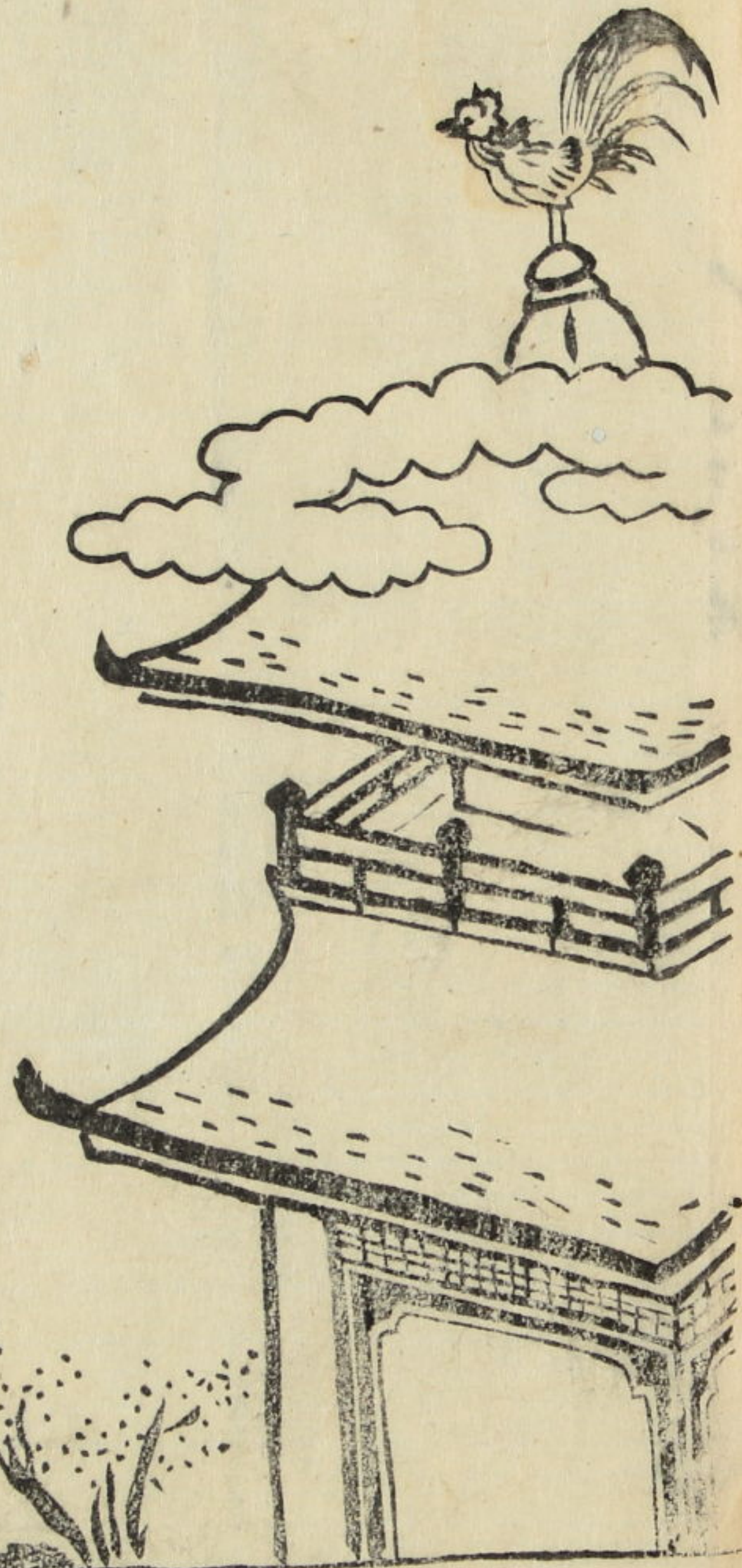
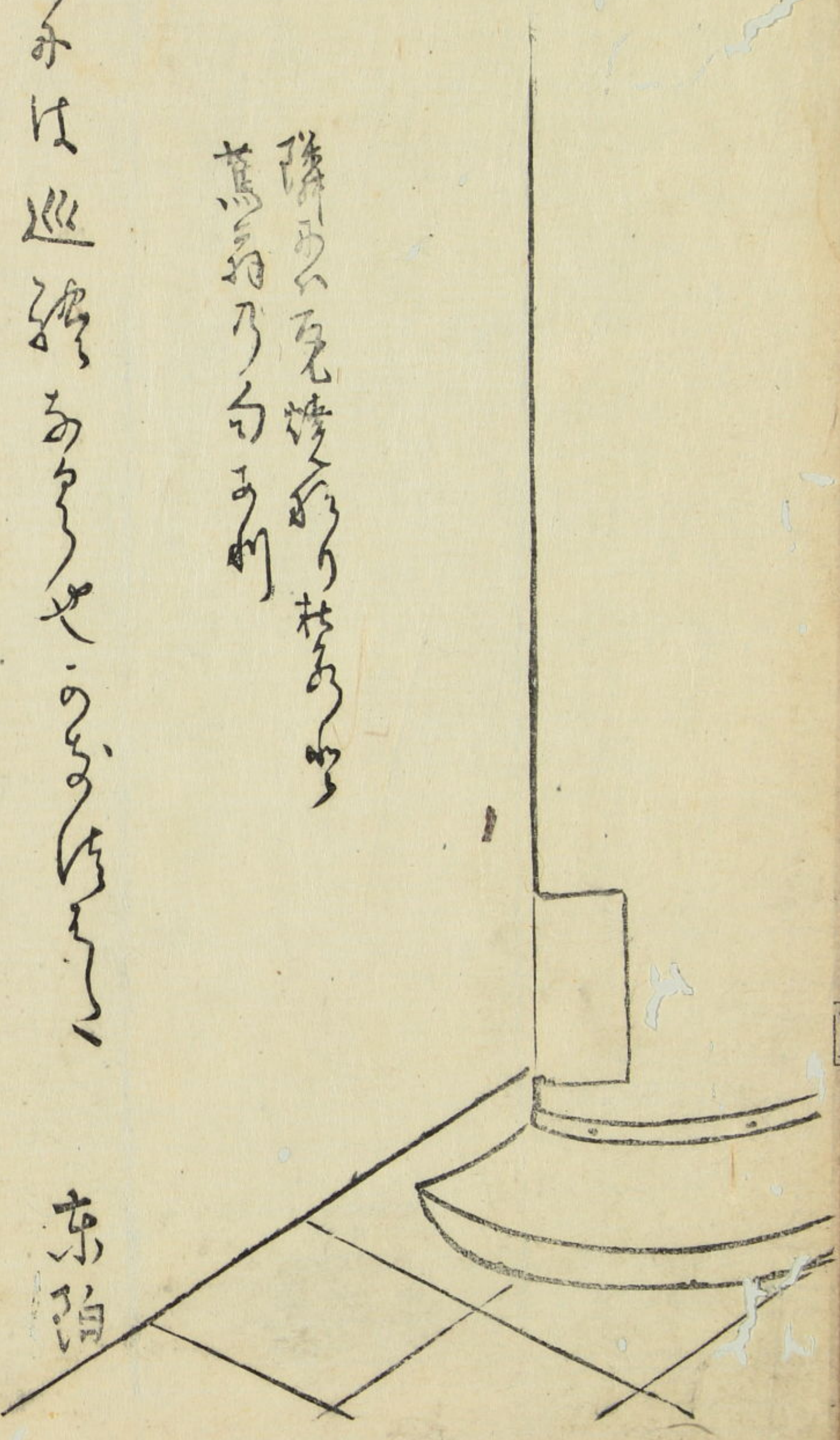
全



隣りの免燈籠の柱あり  
鳥の乃白のり

路には巡路ありて  
東乃初之り

素琴  
東泊



歎かき白のり

見之り

夕日新

一弓舎  
其鶴







夕々折乃

中々

水あま

雑音

音

歌市館  
布谷

三

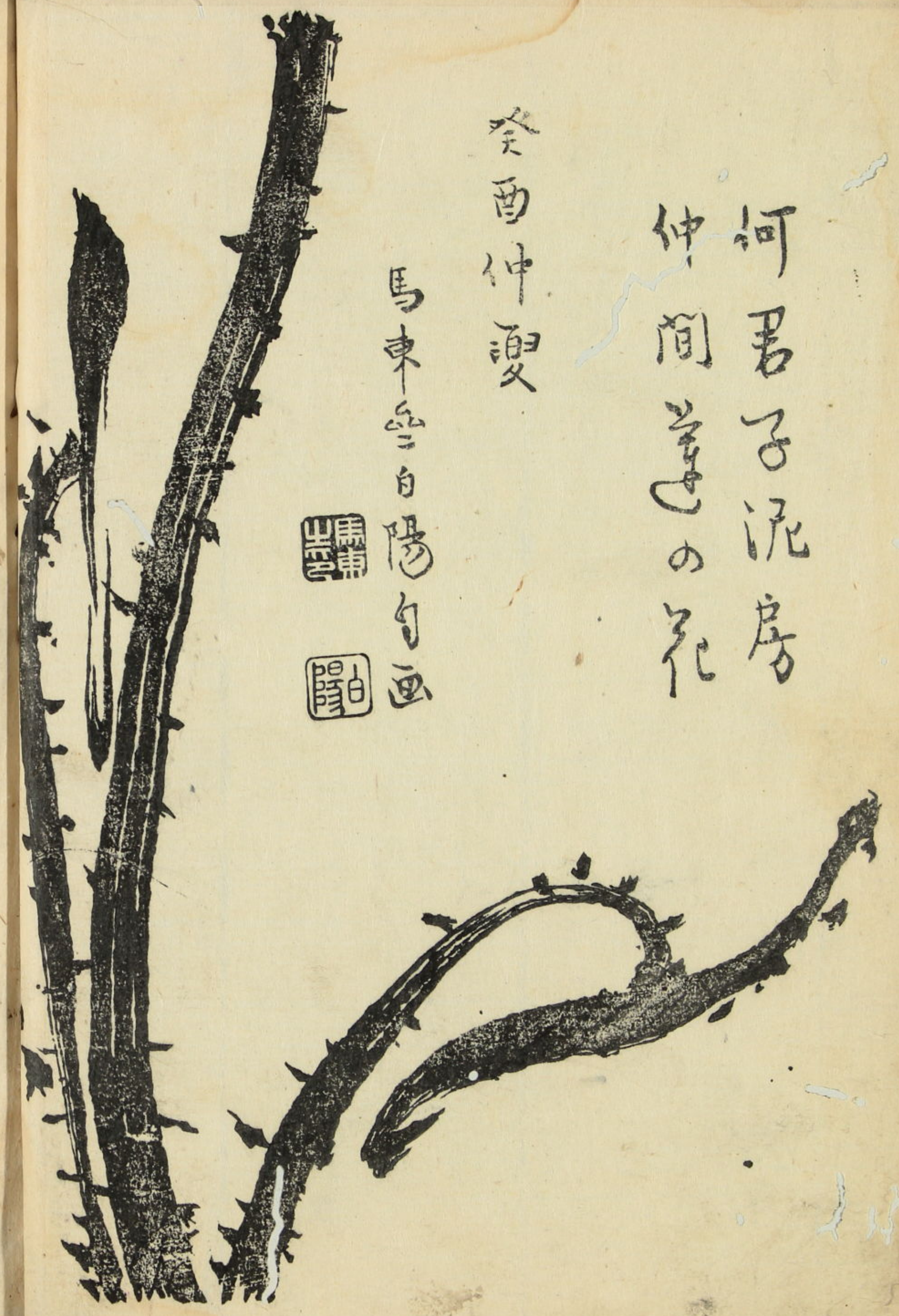


友江馬

何君子泥房  
仲間道の花

癸酉仲夏

馬東雪白陽白画



燒  
 樁  
 石  
 三省  
 廬  
 洲



夏江画

四



陸  
 三日  
 海

讚  
 高  
 府  
 架  
 虹  
 齊  
 亞  
 柳  
 自  
 畫



四

渡世くせいのゆゑに肉由小  
 去るゝ大轡橋とくさ急  
 一睡と翔を飲いおくれ  
 芙蓉  
 菊暉

不物好也石ら

あしきふ  
 夢柳



設  
 教信画



名月必常しる

名月必常しる

名月必常しる

全  
 五雲齋  
 梅谷





右近馬場の御愛樹ハ  
枕流亭  
東陌

影向也

空しくたて

ふあま

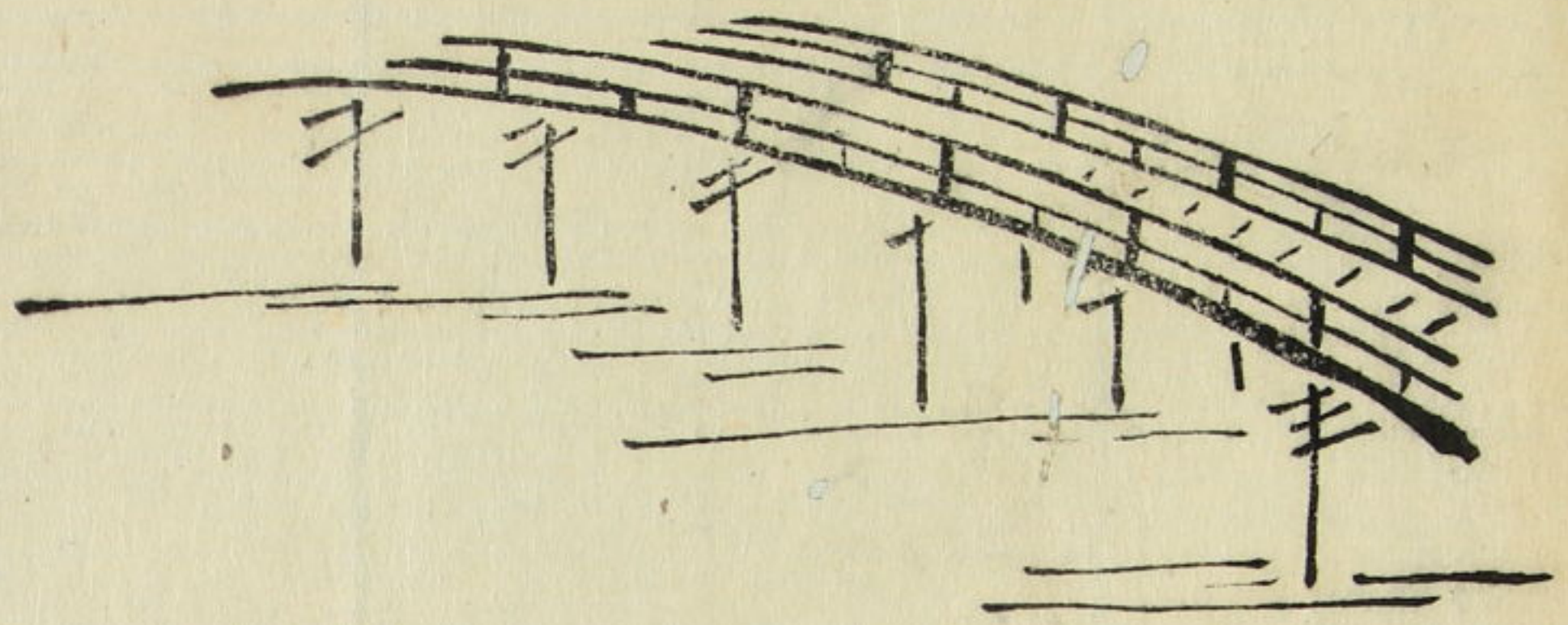
初空れ日氣向あし

くは右那

四十三

行多く出しく梅引蔵の歌  
 明窓挿おりに菊の少鶴を丸  
 卯のふやまを喰行りむら鴉  
 籠はるや子三升古の鐘の鼓耳  
 ふも位玉うちや下界の真次鼓  
 夕ちまひくくまや海の糸  
 文通り  
 心の持ちもまろやあめ白紙布  
 川狩や岸の山崎のまろふ  
 物さ芽のまろもむら物く丸  
 招舖し〜招ふまき日の人時鳥

全 全 高松 豊後富永浦 全 全 全 全 全 全  
 梅谷 芦洲 全 全 李上 燕經 亞柳 芳洲 羅後



大井川

寺後園

榮川堂

晴

夕静画

星あし

僧無目子

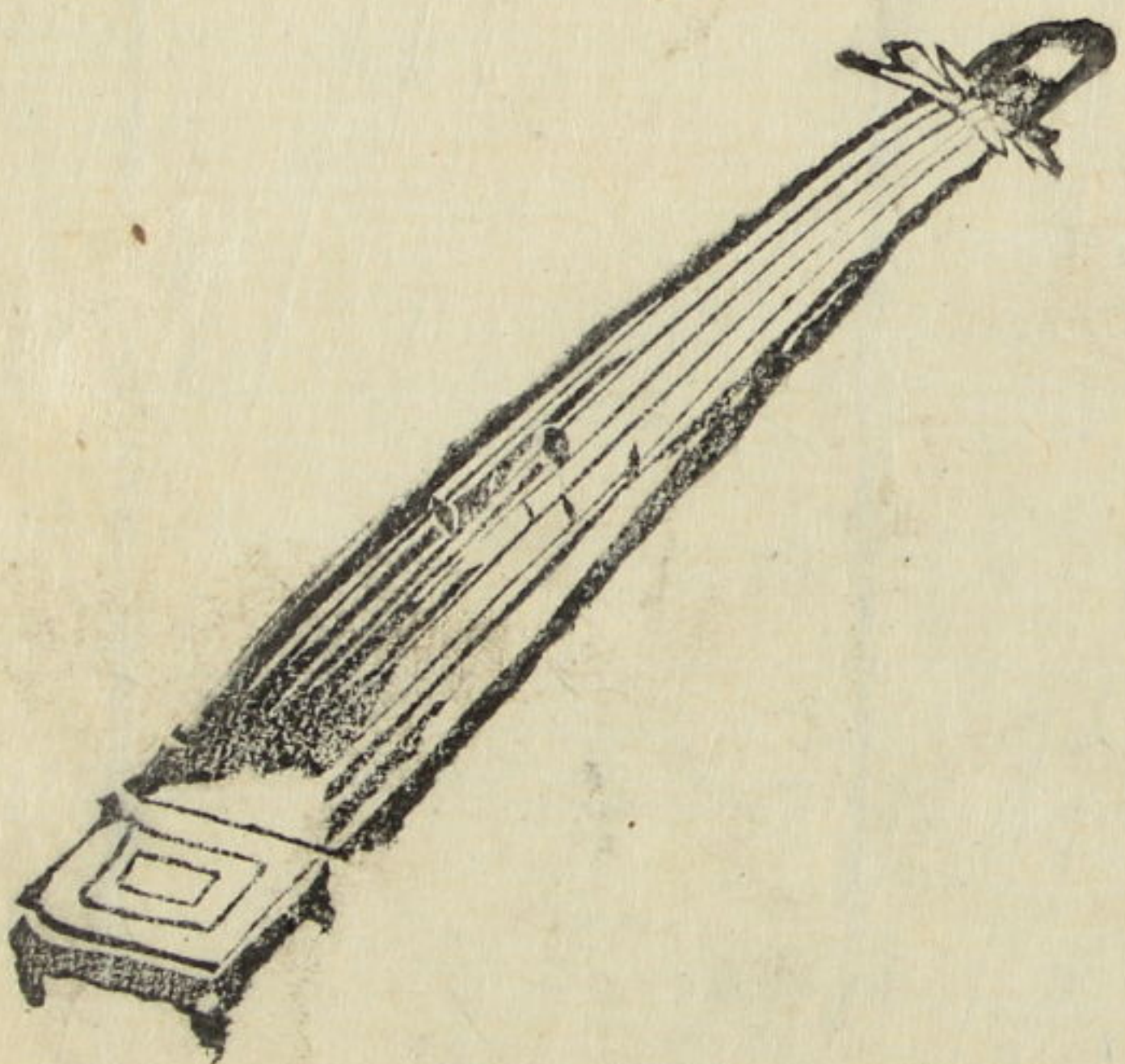
橋の上

八聲中老

稽考斎

の湯

川



勢州松坂棟西言

泉々

水仙也

河しの彦太

神あつ

勢州棉田川  
升町



木  
まじけ  
農

環  
採  
女

如  
母  
有

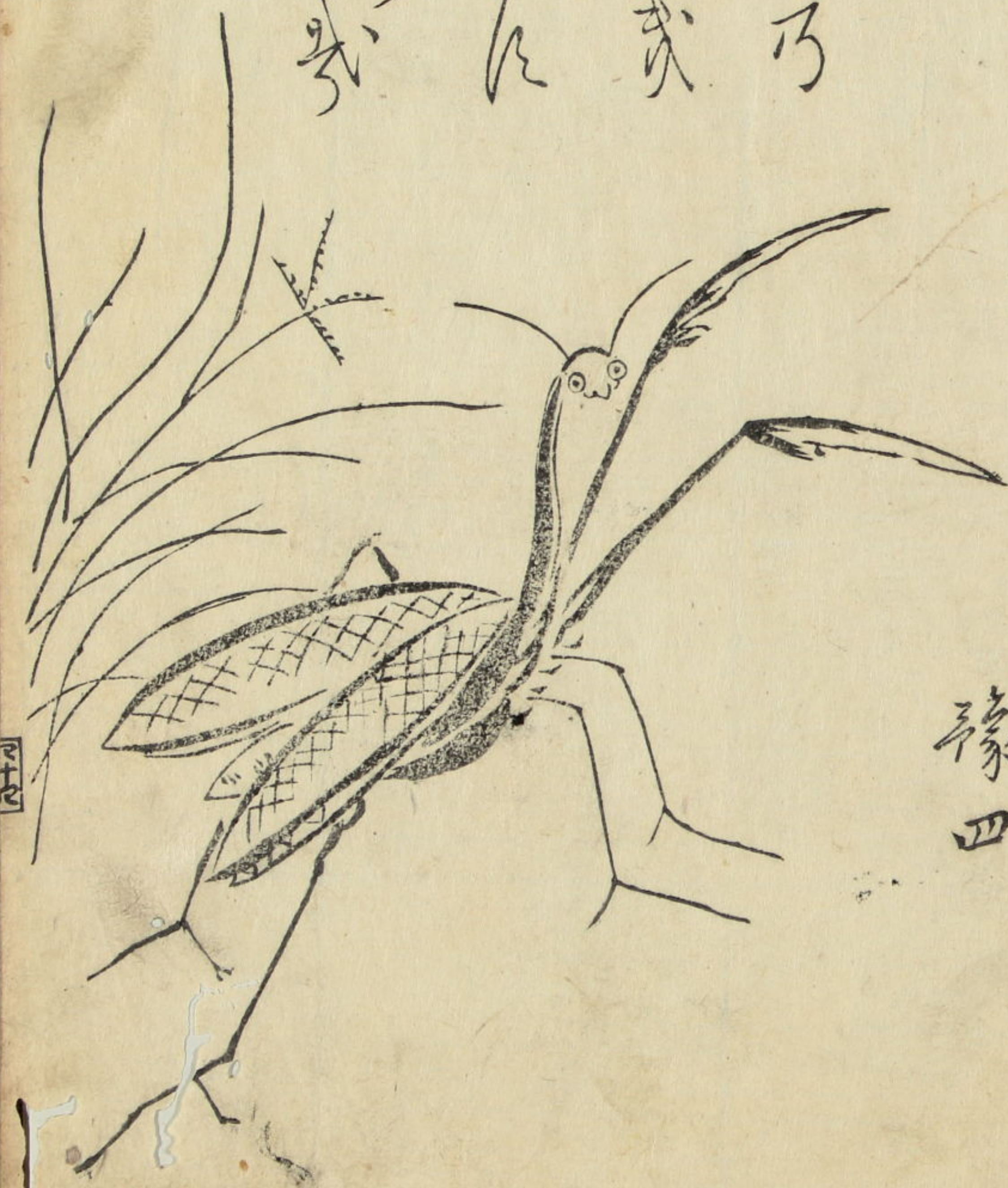
備中庭瀬

吳山





夏 艸 乃  
 毛 之 長  
 花 野 哉



全  
 豫 四

枯 枝 之 立



之 立

之 立 の  
 雲 の 峯

備 中 松 山  
 春 岐



晚鐘

多岐春風

物被野分

備前屋海  
六馬



廣子や

相の銀竹

持て

夕静

曾孫の聖廟奉幣

古積美士の古墳不氣也  
朽れ追善集伴者興  
好士のすゝ免不空の  
呪

惜す

今や佛

暖気



将日如  
集花

知  
川

烟代

但刈生野  
孤亭  
空



松  
子

口  
城

友  
松

一  
不  
松  
後

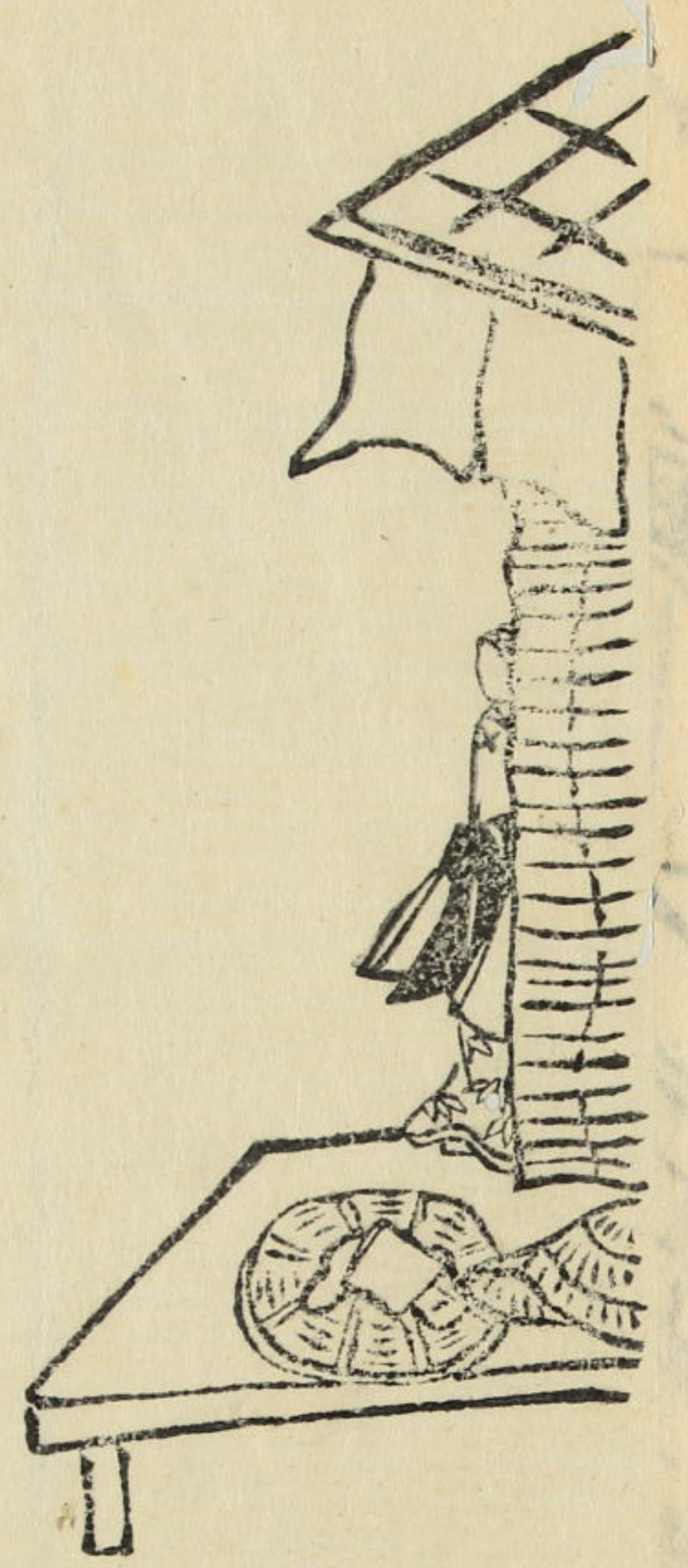


油涼

あまのちのちとくしひ涼うらふ  
積ふくくりてせんすりさのたひうら  
白くちこ蝶のまやふらむ丹  
心珠の影もほろり入日このち  
戸袋のまをさぬくあはれ花  
圓取の勝りふらりぬ火絶あま  
亮ほろり筆のまをさぬく  
炭焼のうらまはぬあまのまをさぬく  
龍の神すくくやまをさぬく  
明光のあまのまをさぬく  
館の目ハおのりもほろりまをさぬく

娘府  
非七庵

十磨  
保水  
如柳  
梅風  
歸幸  
宥史  
憲兒  
專耕  
可笑  
素樂



祇園あまのま

東武

東士

あまのちのちとくしひ涼うらふ

神地あま

あまのち

あまのち

あまのち

あまのち

夕静



東武の好む人小使の  
人小使の生實此雅意小  
使中

川魚の世界も廣く一巻の巻

夕静

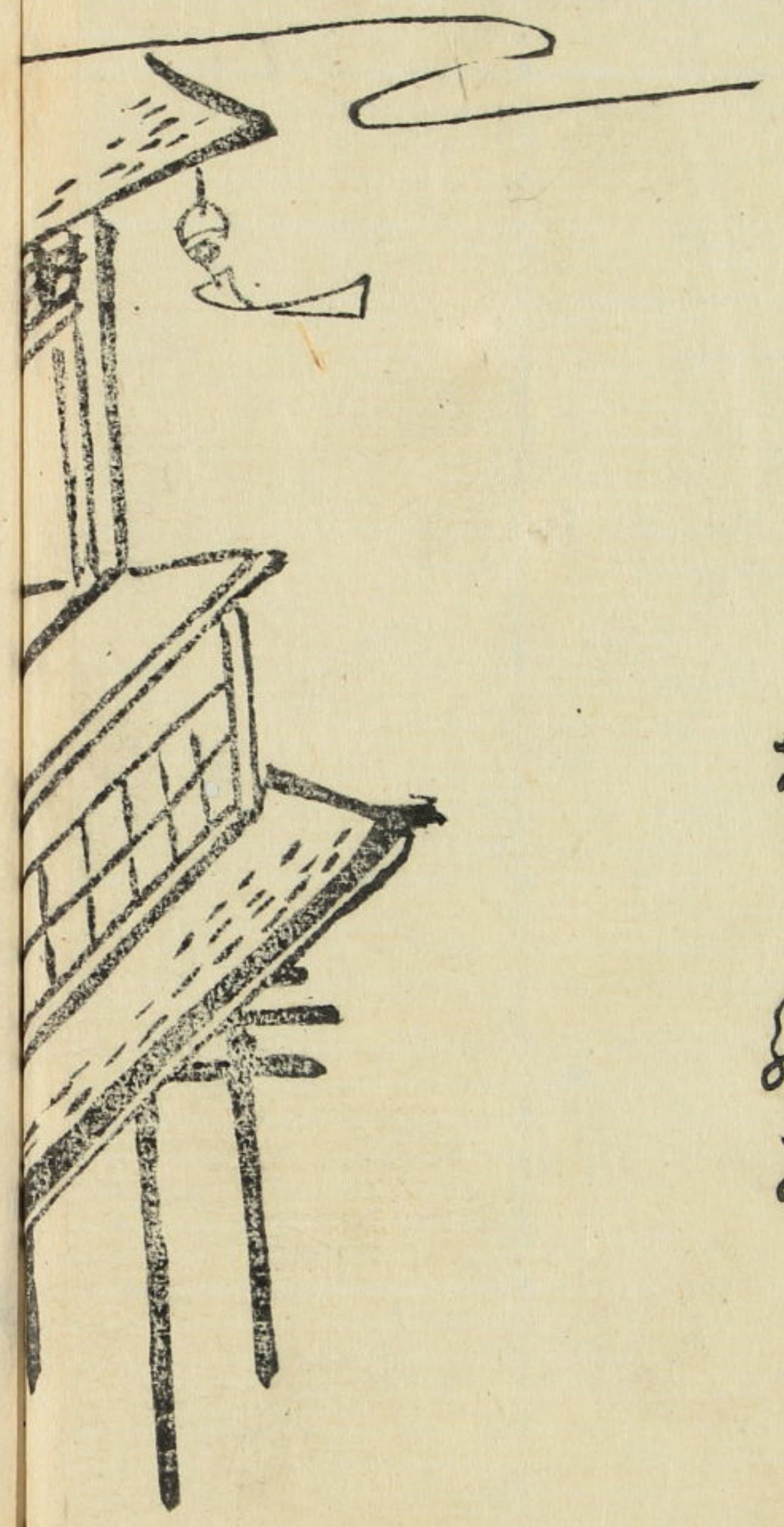
高瀬の吟

高瀬の吟  
高瀬の吟  
高瀬の吟

東武

東士

高瀬の吟



連坂も

七夕みくら

連三

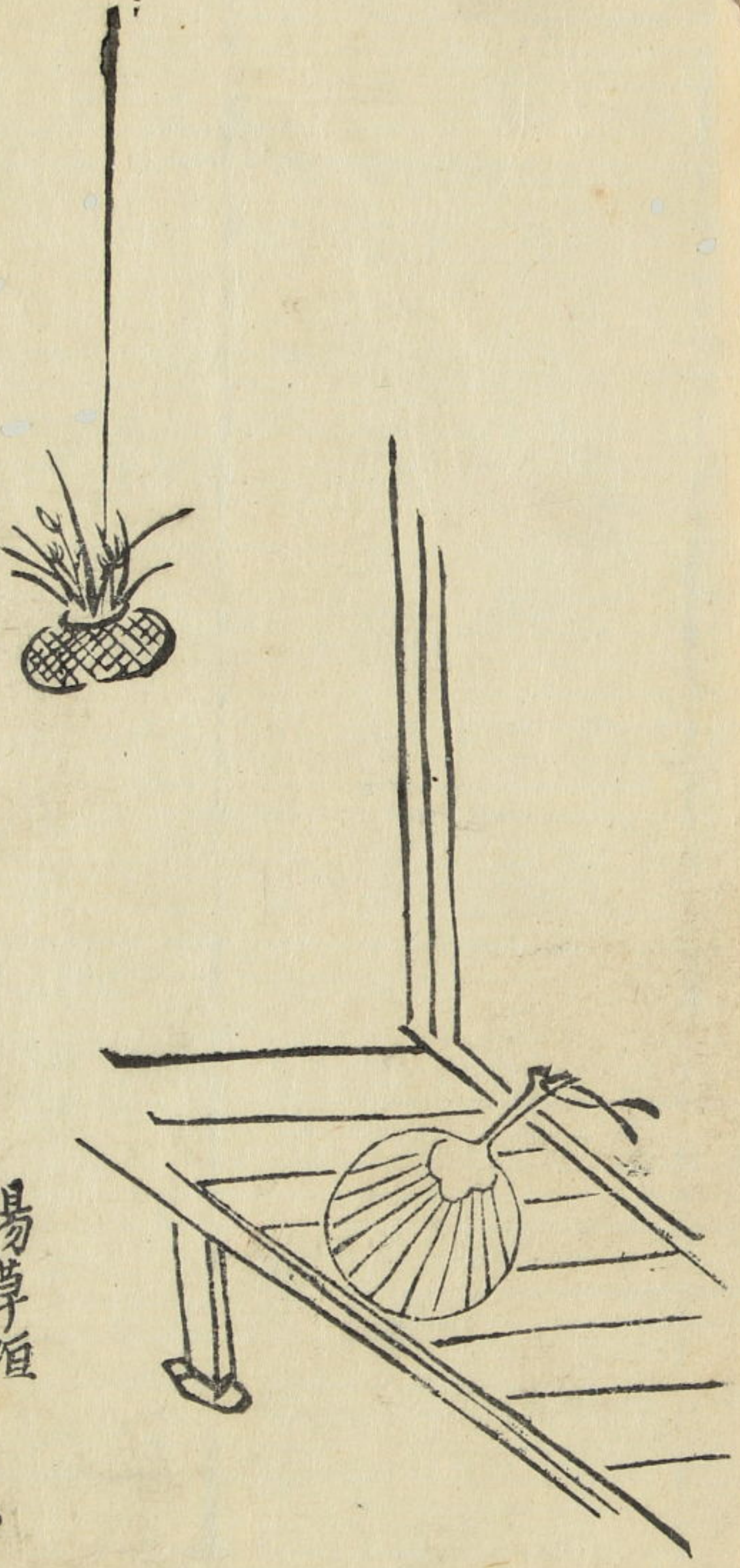
牛の糞

掬

とれし  
ぬるみけりやわ

一  
如  
清  
水

麻住



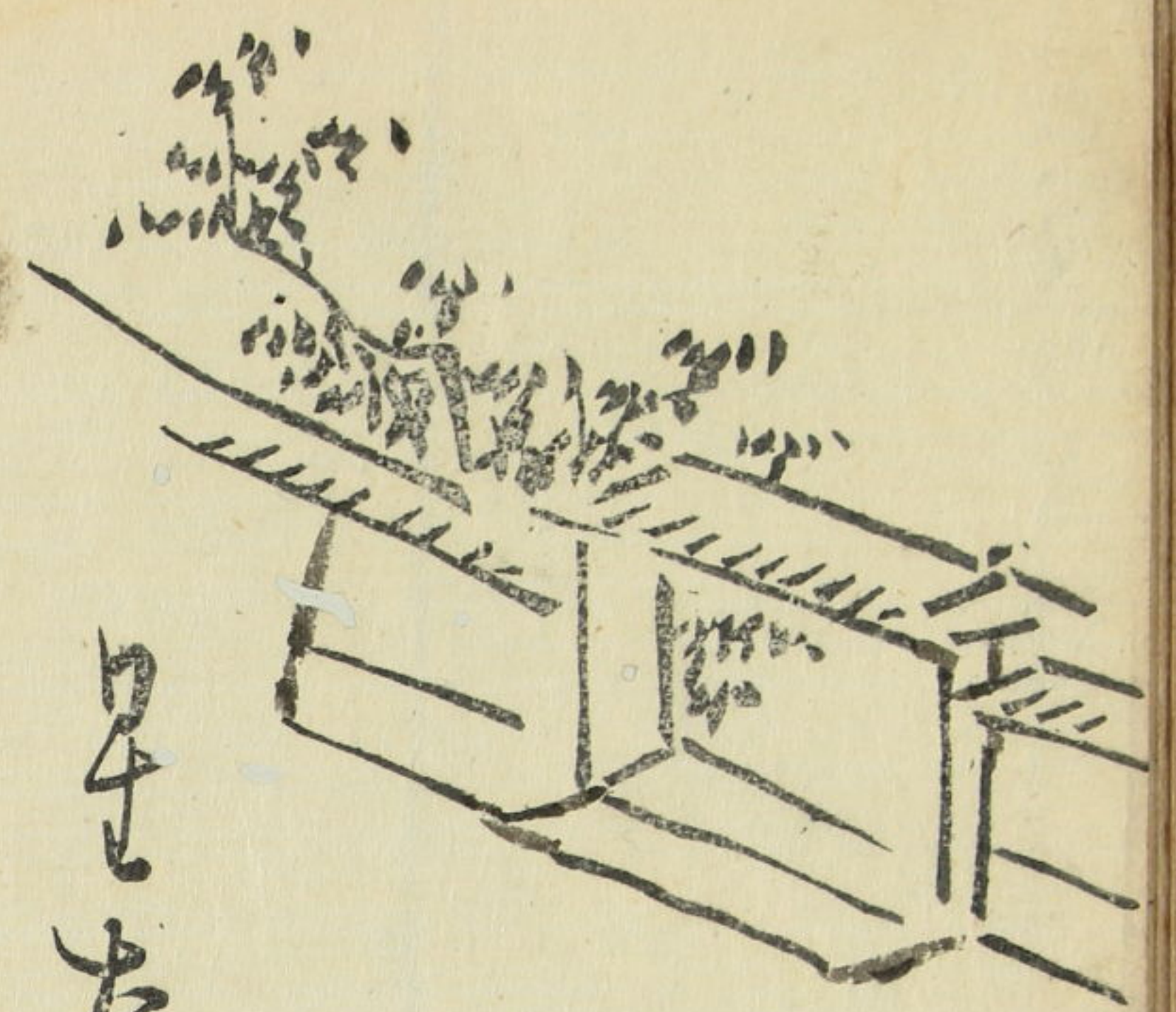
市水必るうゆ

あつちの毛雪の中

山峯

陽草垣  
九  
穂





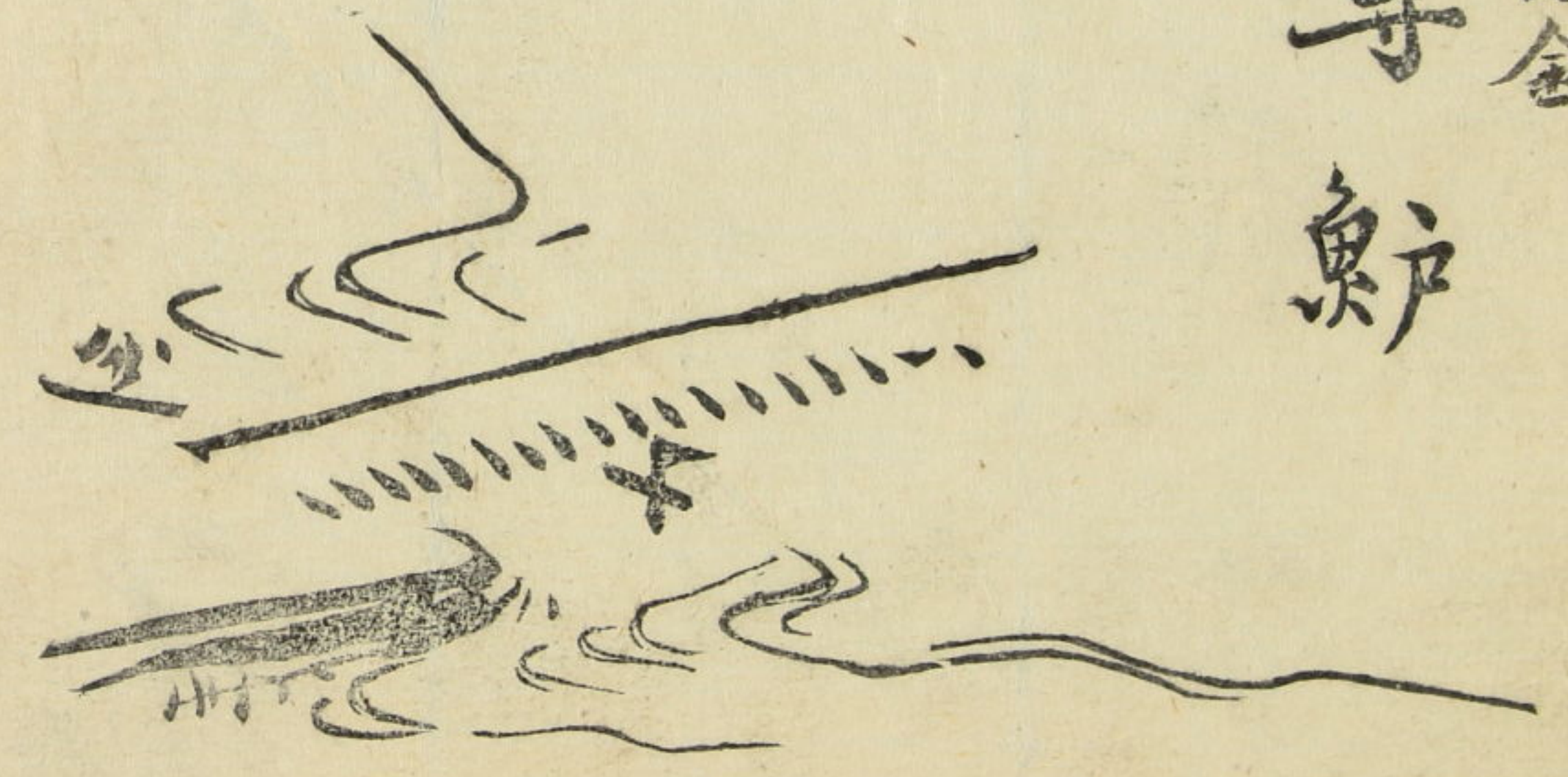
粹章館全

蕁 鯨

紫桂

りし蕁ふ全

空の舟おのりふ



全

空の一枝下り多初きり  
水笑の世上ハサカ一蟬乃  
風舞ふるニテおち高し  
まゝく咳や直一志をり茶の煙

歩十 市曉 仙客

全

空の舟おのりふ  
星の舟おのりふ  
狩をら如葦おのりふ

布谷 正南

全

比良の心尔抄る後の月  
叫ハ空の舟おのりふ

白圭



曉月舎  
雪洞

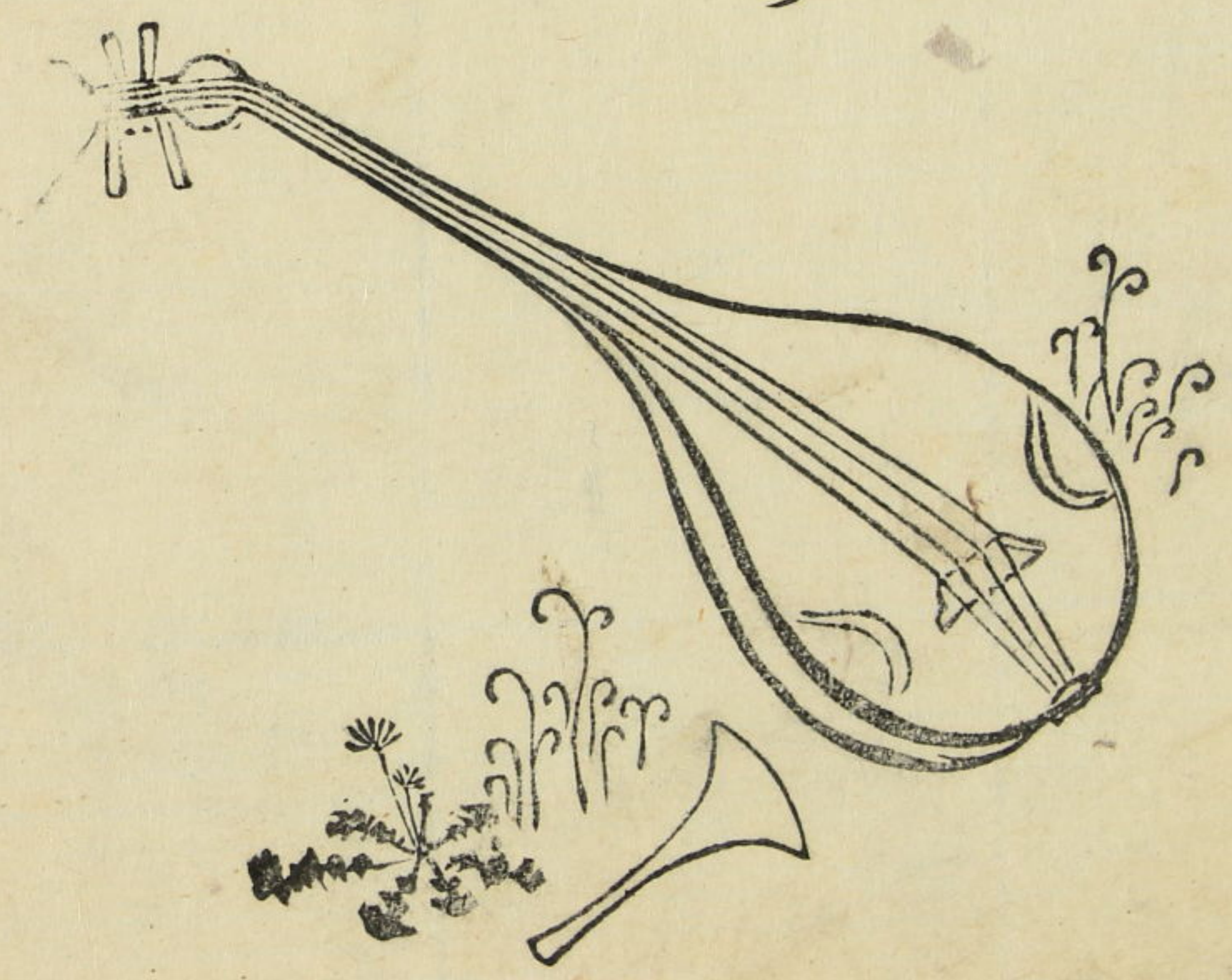
雉子啼

庭一隅の

奥の

あまのこ

うぶ



上高頼連

紫石

迦樓

全

全

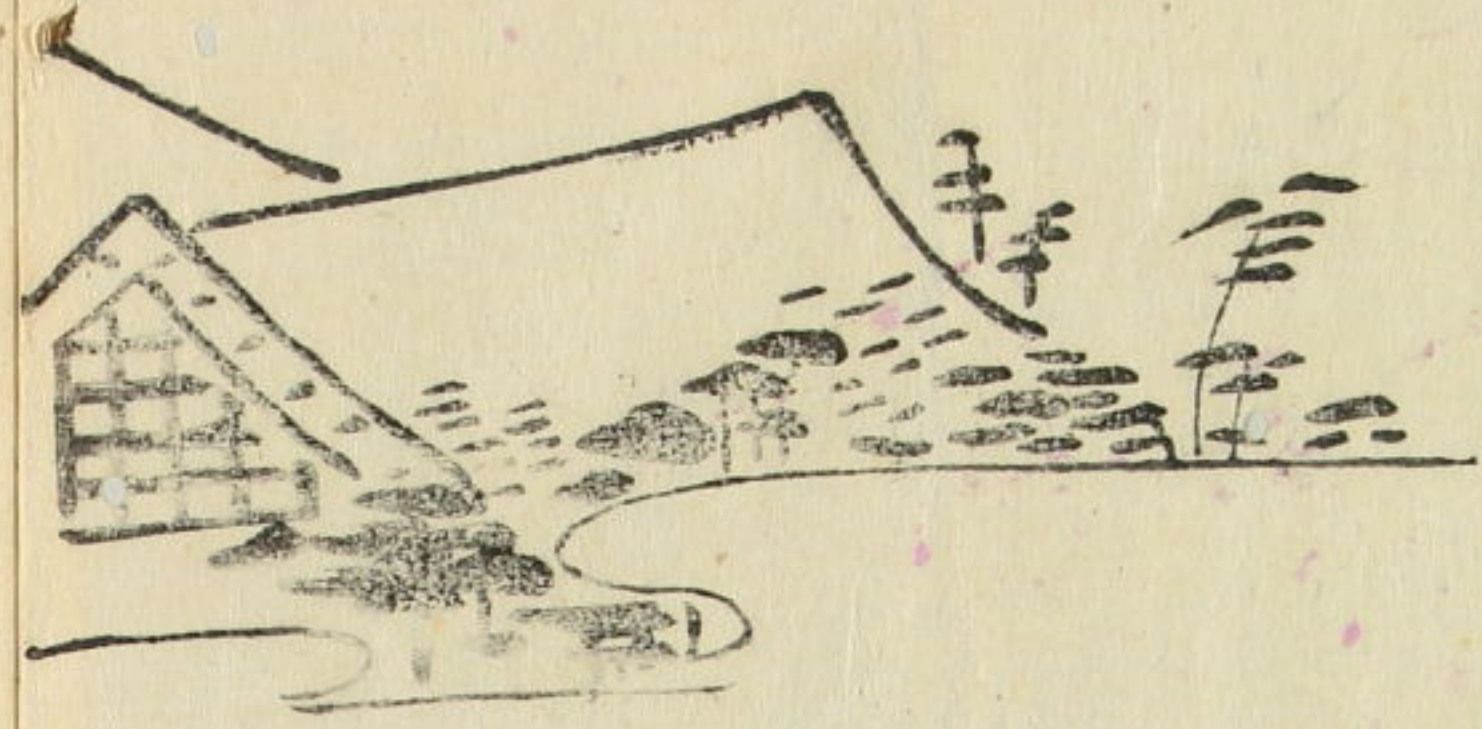
浦澄

み内やふふの徳くお任に  
ぬるむ瀬千曹輩あまをの足  
帆棚あま風成行の口のまき  
まの朝尾打ハあま本朝ふ  
神比あまむまの頼いカ  
秋のあまの縁あまあ  
賤あま

迦樓  
磯石  
紫白

今  
吹羅館  
伽樓

信ふ事いそ者ッ  
や  
葛流 碁は多し



何某乃在堪江申山とて月と依られ小僧と異事奇なるは  
 戦ふ系是魂立湖鑑核小走、東南八里小一を盤と持せり  
 流小恵然の乃世活紀なる寺乃市中を常に入世是乃乃庵乃  
 煙室とる中、細乃神の標細乃光り、方野龍回と役一  
 或はせ干波の義乃只世、りく小神を連るも羞明、其中小  
 月々、いけ、續の名産之、只乃雨小、月々の形有、明乃、草と  
 多、も、奇、矣、之、信、宗、經、之、人、油、筒、の、外、初、く、録、の、山、崎、小  
 於、之、亦、く、一、夜、庵、の、光、以、鏡、也、右、明、此、録、り、多、ん、り

霄閣乃

和、の、濱、也、月、日、貝

東紫庵  
其目



一日  
ふりてを糸一更衣

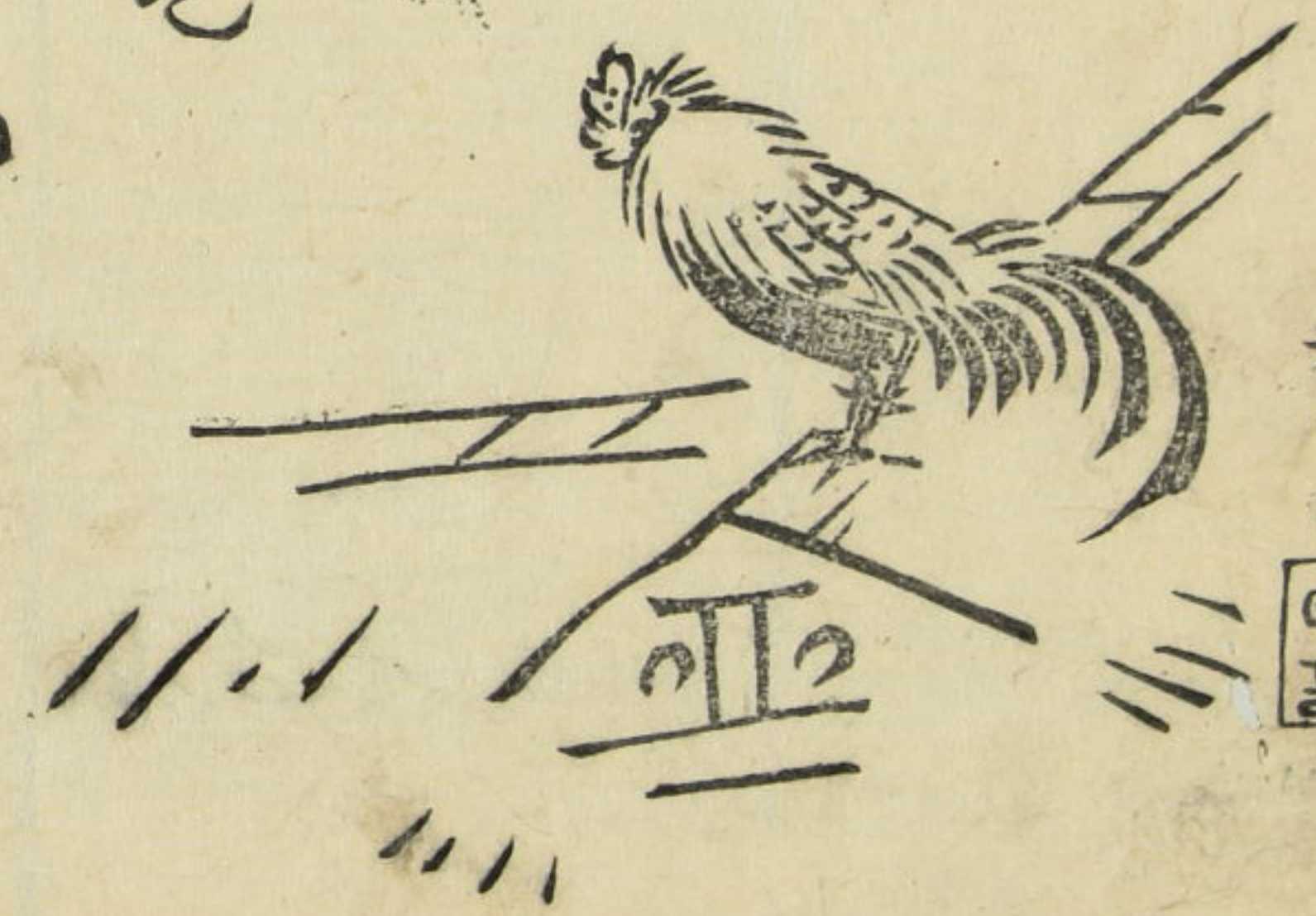
全中姫  
深音堂  
石丈

新衣也也内也

関者す

力

羅蒼館  
足菴



教信画



新

う楽

全

岱雲閣  
雪角

那  
之  
乃  
乃  
乃  
乃  
乃



梅多やあ人のあもも才一り一

金毘羅

樂山

心非や月をからをも男のめも

全

何とくも松子とく礎この那

真野

鬼拉

梅多やあとのあもも画一画一

全

引かぬり馬の目てり影巾式

全

梅

まよふやあもももももももも

與北  
耳涼亭

陶梧

全

嚴 函 奉 吟

追 風 号

了 了 亦 亦 亦 亦

了 了 了 了

連 日 宿

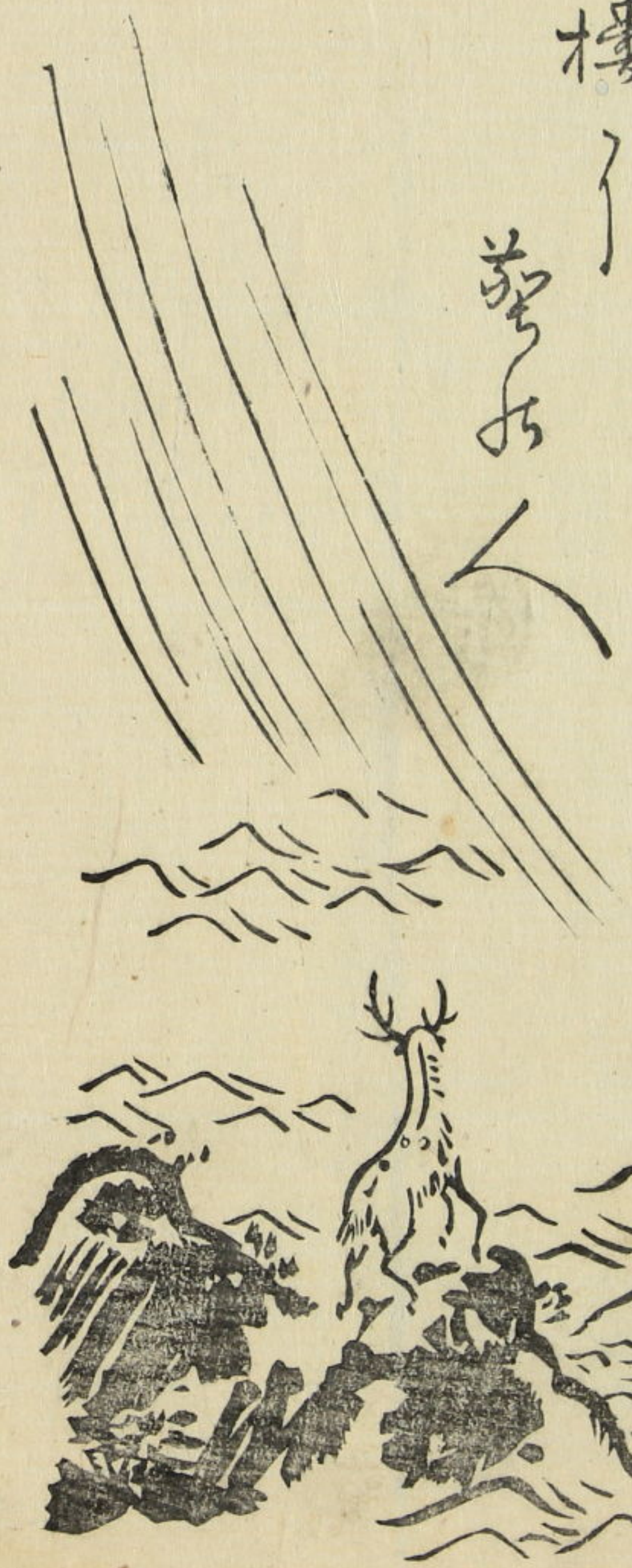
武 然

瓦 冷

山 中 や け け

樓

了 了



山 解 系 之 葛

山 野 白 翠 之 面

四 友 宅

古 道



星文

水不言月鳥田並是也星文の如く  
又静

洞成かゝる虫の意り月鳥  
大正寺北の鳥子  
鳥在新多科

新月也深る田面は曲し北海

帛房川房也以津多北三田  
帛房河系流也

之流川也懐舟しりり  
今流川北の  
川

あゝの流し此著也きりり流の如く  
日比布一の時 西三東の如く

西陳の体けいと織る柳子  
山槐

すゝ解舟流し

あゝやたれ

普山





正の風を抱くや花の色

明可

おの色のあけりし神のあ

古伴

師交り日く母りしや花の足

志山

む久うきの原十好一柱

逸滴

ワ古々見ハ香を疑人あのを

田隅

神苑の價貴一まの純

之仙

社うぬ枝交”おのあは

省我

あう〜や此に馬帽子尔科何し

藤田

平柳

横や枝拂あやあめ白羽巾

圖座

龜晶

あう〜やあめ白くとりり子あ

挑里

むう〜の人純神の修をて喜野山風ハ

行帆入て美碇母通公松”神飛平

あう〜濃見也松人併追風の便初

〜てあ甲と一好あきるとおく森乃

あう〜媒有〜志〜風ああ〜

さう〜あ好む海〜記ああ〜

お〜風流風雅ハあを傳る〜

風鈴風流風雅ハあを傳る〜

〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜

〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜

讚元山

青松軒

あう〜ハ行白〜あ〜あ〜梅純風

流竹



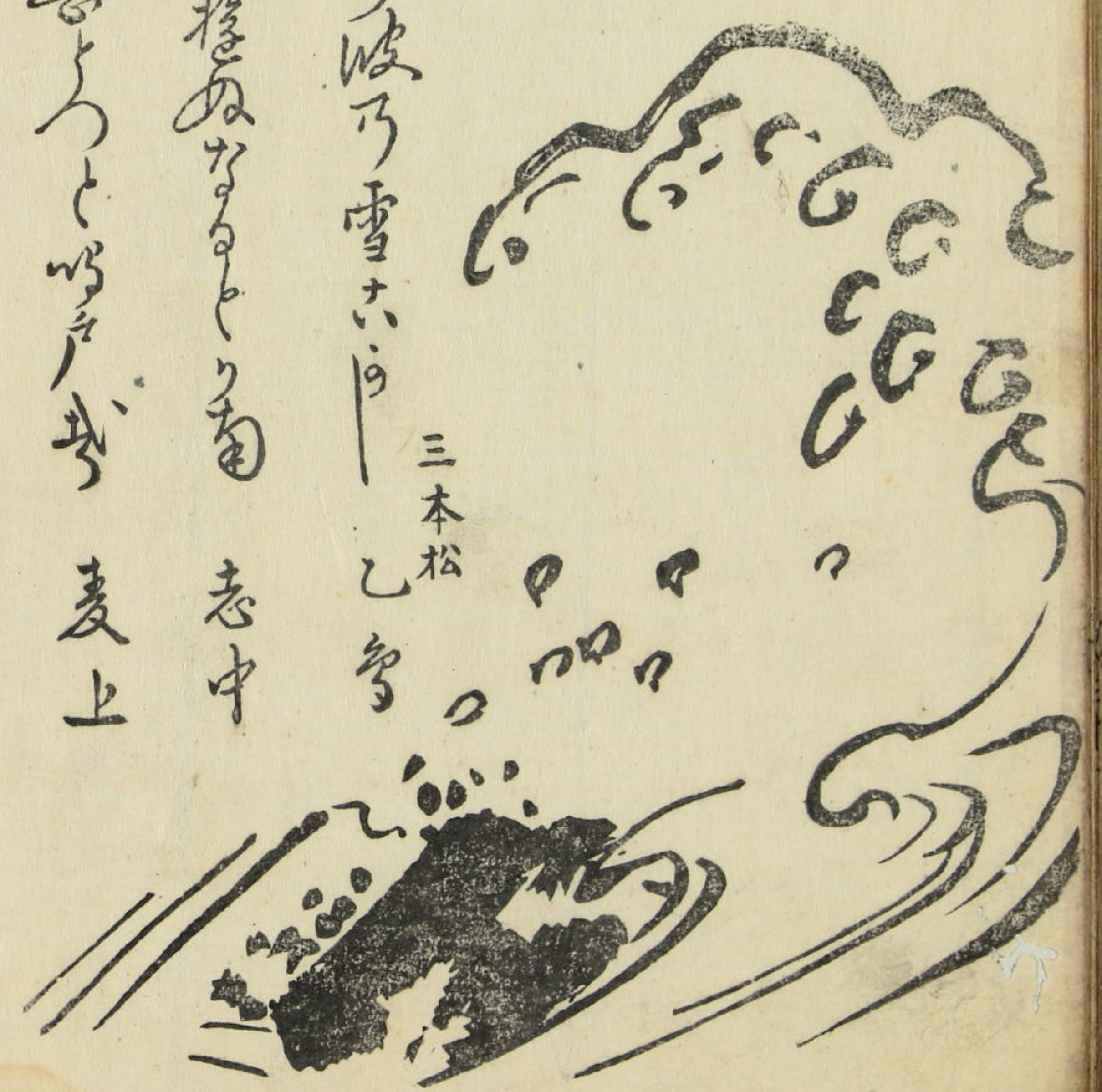


指妻乃  
 屋敷  
 碎り  
 心門  
 哉

夕静自画

眼をきく一門の波乃雪六戸  
 水多如お子控ぬなるとり南  
 志中  
 八海路の滔々よんと吹戸が  
 麦上

三本松



し多

有草此人尔踏成、是、  
 此あつと、  
 心、  
 風、  
 神、  
 菊、  
 改、  
 全、  
 山、  
 挑、  
 長

白音  
 挑室  
 南水  
 奇白  
 博我  
 志連  
 菊扉  
 改我  
 全  
 山螺  
 挑皮



